

## < 来所・連携報告 >

中国四国管区行政評価局の職員が来所されました。聴覚障害者のコミュニケーション、主に FAX と E メールについての調査・相談でした。

行政評価局では、総務省の行政相談制度を国民の方に広く知ってもらうため、各種団体等の会合等の場を訪問し、行政相談業務を説明するとともに、行政に関する意見や質問等を聞く行政相談懇談会を行っているそうです。今回は、聴覚障害者関連の調査・相談でした。

また、広島県庁 商工労働局 医工連携推進プロジェクトチームから連絡がありました。医工連携推進プロジェクトチームは、県内で医療機器、福祉機器を製造している企業の開発サポートを行っており、その中に福祉車両の開発を行っている企業もあるそうです。

「聴覚障害者が乗りやすい福祉車両を開発することを目的に、聴覚障害者ドライバーの生の声を聴きたい」とのことなので、広島県ろうあ連盟事務所と連携を取り、耳の日大会終了後に場を設定することになりました。(松岡)



当センターでは情報提供スペースで福祉機器を展示しています。2018 年の新しいパンフレットが入荷しました。ご入用の方はご自由にお取りください。

福祉機器の相談も随時受け付けています。お気軽にお問い合わせください。(鈴木)



## 1月の行事から

### お宝ビデオをみる会 1月18日(木)14:00~16:00 参加者 4名

3 回目のテーマは教育。「大学における聴覚障害学生サポート」(手話・字幕・音声付)のビデオをみながら 15 年前の大学でのサポートと現状について考えました。参加したろう者の知人も映像に登場し、まさに懐かしの「お宝ビデオ」でした。参加したろう者の生い立ちや学校での苦労話も伺えて充実した 2 時間でした。(鈴木)



### ふれあい作品展 12月16日(土)~1月13日(土) 出品者 28名

12月のセンターまつりから開催。出品数104品もの展示をすることが出来、県内各所から100人を超える方々に見て頂き、ありがとうございました。アンケートでは、「プロ並みな力作が多く、感動した」などの声を沢山頂きました。

また次回、多くの聴覚障害者の皆様の出展をお待ちしております。

(福尾)

### 「アイの玉手箱」原画展 12月16日(土)~1月13日(土)

K 画伯の漫画やイラストの原画をセンターまつりから引き続き展示しました。来所された人や通りかかった人も足を止めて見入っておられました。たくさんの方に見ていただき、感謝感激です。これからも応援していきましょう。(鈴木)

